



7/27 いのちのつながりを考える 福岡ハカセの読書会 in Kitakami

福岡ハカセの読書会 in Kitakami(公益社団法人2025年日本国際博覧会協会、ジャパンマテリアル株式会社主催)は、さくらホールfeat. ツガワで行われました。「福岡ハカセ」こと福岡伸一氏(青山学院大教授)の絵本「ホタルの光をつなぐもの」を題材に、同氏と自見万博相、千葉安珠さん(黒北高2年)が朗読。会場内をプロジェクションマッピングが彩り、参加者は楽しみながら「いのちのつながり」を考えていました。



8/3 日本で有名な鬼の企画展始まる 鬼の館で特別企画「酒吞童子展」

今年6月に開館30周年を迎えた鬼の館で、記念の特別展「酒吞童子展」が始まりました。酒吞童子は、平安時代に丹波(現在の京都府福知山市)の大江山をすみかとして人々から恐れられた鬼。源頼光らが退治に向かうという物語は、江戸時代に多くの絵師が取り上げて描きました。これらの資料を日本の鬼の交流博物館(同市)から特別にお借りし、展示しています。同展は10月20日まで開催されます。

7/26 東北・全国中総体に向け決意新たに 中学8校と2団体が意気込み語る

東北・全国中学校総合体育大会に出場する、上野、北上、飯豊、北上北、南、江釣子、和賀西、和賀東の各中学8校と、クラブチーム、スポーツ少年団の生徒らが市本庁舎を訪れ、代表生徒が決意を表明しました。陸上競技で全国大会出場の千田綱斗さん(北上中3年)は「培ってきた努力や経験を生かしたい」、水泳競技で東北大会出場の小原紫鈴さん(江釣子中3年)は「自分たちの力を十二分に発揮したい」と誓いました。



8/1 3年ぶり7度目の全国出場 ソフトボールの北上クラブが躍動

第29回全日本レディースソフトボール大会(8月16日～19日、北海道石狩市)に出場する北上クラブの選手らは市本庁舎を訪れ、目標を語りました。同チームは北上・花巻・奥州・盛岡各市在住の20代から60代の部員27人で構成。高橋果紅主将(31歳・和賀町煤孫)は「家族らへの日頃の感謝を忘れずに、まずは1勝したい」と力強く語りました。家族、チーム一丸となって全国大会へ挑みます。



まちの話題

市内の話題を紹介



7/24 学生金型グランプリで快挙 岩手大学が2年連続の金賞

第16回学生金型グランプリ(4月18日、大阪市)のプレス用金型部門で金賞を受賞した、岩手大学修士1年の佐々木大成さん(23歳・秋田県大仙市)、成田圭佑さん(23歳・仙台市)、成田湧介さん(22歳・青森県六戸町)らは、市本庁舎を訪れ結果を報告しました。平成26年以降、プレス型部門は今回を含めて5回、プラスチック型部門は2回受賞。市と同大学が協力して進める金型技術研究の成果が現れています。



7/24 全日本管楽コンクールで快挙 菊池萌花さんが初出場で初優勝

全日本管楽コンクール2024全国大会(5月5日、横浜市)に出場した二子小学校講師の菊池萌花さん(23歳・下江釣子)と菅原純校長は、市本庁舎を訪れ1位受賞を報告しました。菊池さんは全10部門あるうちの一般ブラス部門にサクソでエントリー。1位の結果を喜び、「児童には演奏の楽しさを伝え、演奏活動をしながら岩手県で楽器などの指導ができれば」と笑顔で話しました。

7/20 図書館にポケモンが現れた！ 子どもスペシャルデー

人形劇や映画会などの企画が盛りだくさんの子どもスペシャルデーは、中央図書館で初開催されました。中でもポケモンのぬいぐるみを探す「ポケモンをさがせ!」は大人気。多くの親子連れが館内を駆け回り、かわいらしいポケモンたちを探していました。ピカチュウが大好きな佐々木隆之介君(江釣子小1年)は「ポケモンを探すのは難しかったけど楽しかった」と笑顔を浮かべました。



7/24 2年連続で全国大会へ ソフトテニス菅原・齋藤ペアが活躍

北上ジュニアソフトテニススポーツ少年団の選手らは市本庁舎を訪れ、県大会の優勝報告と全国大会への意気込みを語りました。菅原雪奈さん(黒北小6年)は「2人で励まし合いながら、全力でプレーしたい」、齋藤寧心さん(鬼柳小6年)は「ペアとしっかり話し合い、悔いのない試合にしたい」と力を込めました。2人は8月2日と3日、第41回全日本小学生ソフトテニス選手権大会(岡山市)に出場し、健闘しました。

